

# 平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協  
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年  
5月16日  
発行

## 核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

宮崎→長崎コース通し行進者の竹田昭彦さんは、5月6日から東京→広島コースに参加して連日ホームページ「竹田昭彦・日誌」(<http://takeda-a.net/2019-nissi.html>)で発信しています。一部を紹介いたします。

5月6日（月）

今年は、広島と長崎に被爆が落とされてから74年目です。1958年からはじまった平和行進は61年目で、62回目になります。

今日は、東京→広島コースが東京都江東区の夢の島公園から出発します。このほか、本日、北海道→東京コースが日本列島北端の島の礼文島から、四国→広島コースが高知県宿毛市（高知と愛媛の県境）から出発します。



私は、東京→広島コースの初日を歩き、明日から神奈川県内を歩き、その後の6月23日から宮崎→長崎コースを歩きます。

行進では、東京駅の前から30名ほどの被爆者が、先頭のリレー横断幕を持ち、終点の日比谷公園まで（約2km）歩き通しました。

今年は、宣伝カーに乗った幼年児たちの可愛いピース・コールがありました。それに励まされ、沿道から手を振る人が昨年より多くありました。沿道の幼児が身体でリズムを取って、「ピース」と叫ぶ姿も見えました。被爆者をはじめ、行進者たち一同が笑顔の行進になりました。

5月7日（火）

東京都から神奈川県へ引き継ぎ、川崎市川崎区の行進です。

午後2時30分、東京都大田区の大摩川（左岸）河口近くの六郷土手公園で、神奈川県の出発式が開かれました。

引き継ぎのリレー横断幕は、東京の被爆者から神奈川の被爆者へ手渡されました。私は、初めて見る光景です。連帯感の高まりを感じました。

神奈川のはじめは、国道15号線からJR川崎駅へ向かい、駅前の商店街を練り歩き、市役所（建替え中）前を通り稲毛公園で終了です。



終了式では、川崎市川崎区の区長から歓迎と激励の挨拶を頂きました。

区長は、「平成の時代は災害が多かったが、令和の時代は核兵器廃絶の時代にしたい。みなさんの行動がその達成につながります」と言われました。「令和元年」のムードだけではなく、核兵器廃絶に向かって、飛躍の機転にしたいと思いました。

終了式では、アピールコンテストの表彰式が行われました。3年前から神奈川県で行進で取り組んでいる、アピール度を盛り上げる企画です。昨年までの表彰は、菓子類の賞品だけでしたが、食べてしまえば何も残らない、との声が寄せられ、今年は表彰状を授与することになりました。

平和行進が市民に賛同され、参加者が広がる努力を続けるアイデアや企画は、必ずより良いアイデアが生まれ、発展することを知りました。

## 5月8日（水）

川崎市の川崎区、幸区、中原区の行進です。

終点の中原区・新城公園へ着き、今日のアピールコンテストの発表がありました。

受賞は、新婦人中原支部のメンバーが作ったうちわのアピールでした。

平和の風を、大いに吹かせて評価されました。

選考基準は、次の通りです。

- ① 「核兵器禁止条約に参加しよう」「核兵器のない世界を」をテーマにしている。
- ② 市民参加の手作り感のあるアピールやパフォーマンスである。
- ③ 「目立つ」「工夫している」「チームアピール」など、注目度・アピール度が高い。



## 5月9日（木）

AコースとBコースがあり、私はAの川崎市の高津区、多摩区、麻生区の行進です。

川崎市全7区の行進が終わりました。この3日間で、全区の区長から、メッセージを頂いたことになります。初めてだそうです。どの区長も、自分の思いを話され、感銘と行政の連携を知りました。

川崎行進の休憩などでの接待は、主に生協の組合員が行っています。テーブルに、飲み物や菓子などを手際よく配置され、テントやプラスチックの通い箱の「椅子」を用意されたり、血圧測定（医療生協）の所もありました。

今日の行進終了式最後に訴えられた、国際青年リレー行進の募金では、募金袋がまわると、千円札がどんどん寄せられました。これまで見たことのない光景です。日本の平和行進参加5度目になるフィリピンの青年、ゲレーロ・AG・サニョさんの挨拶もあり、募金の趣旨が伝わったのだらうと思いました。



5月10日（金）



AとBコースがあり、私はBの相模原市、座間市の行進です。

午後1時45分、座間市の小田急線の座間駅前で出発式が開かれ、午後の行進へ移りました。

座間市にも、米陸軍基地のキャンプ座間があります。この基地には、星条旗、日章旗と共に国連旗が掲揚してあります。日本の米軍事基地に、国連旗が7か所ある1つです。国連旗は、朝鮮戦争の連合軍を意味します。昨年からは始まった米朝会談などで、朝鮮戦争の終戦協定が結ばれれば、降納することとなります。そうなれば、アメリカを主とする国連軍の、日本駐留根拠がなくなります。横田基地も普天間基地も、その対象です。国連軍の撤退については、たいへん大きな意味があると思います。

午後3時40分、座間市役所へ着きました。歓迎式が開かれ、市長メッセージを市民部長から披露され、市長、議長、市職労組から激励金を頂きました。市職労組の激励金を、私が受け取りました。座間市は、平和行進発足当初からの原水協が継続しています。市民の募金で平和行政が進められる、全国でも希な自治体です。

5月11日（土）

A、B、Cのコースがあり、私はCの横浜市旭区、瀬谷区行進です。

12時、横浜市旭区の相鉄線鶴ヶ峰駅近くの鎧橋公園で、旭区「網の目」行進の出発式が開かれました。公園には、階段状の舞台風の造りがあり、平和行進の出発式にもってこいでした。

これまでの行進では、シュプレヒコールをしていたそうですが、今年はピースコールのリハーサルをしました。Cコースは、独自の網の目行進なので、他の行進コースとの交流が少なかったようです。後尾の高い命令調のシュプレヒコールから、沿道の人に共感を待たれるピースコールに、だんだん普及しつつあります。2013年の行進で、ピースコール採用が提起されてから6年目、たいへん嬉しく思いました。

5月12日（日）

Bコースの横浜市神奈川区、西区、中区、南区、港南区行進です。

11時50分、横浜市役所近くの大通り公園で、Aコースと合流し、繁華街の行進へ移りました。

12時50分、象の鼻ゾーンで歓迎式が開かれ、県知事メッセージを国際課副課長から披露されました。休庁日でしたが、県庁の熱意が伝わってきました。



国際青年リレー行進募金は、29,624円頂きました。募金の集約は、通称カンパ隊長の小林和江さん（東京→広島コース通し行進者）にお願いしています。

5月13日（月）

Bで横浜市の泉区、戸区、栄区の行進です。今年のBは、コースを変更しました。

9時15分、出発場所を変更した泉区役所で、出発集会が開かれました。これまでの市営地下鉄立場駅より、1kmほど手前です。区役所に変更したことを機会に、地元実行委員会では区長メッセージを要請したそうです。応えて頂き、総務課長から披露され、励ましをもらいました。

午後4時、終点の栄区にある県立地球市民プラザに着きました。この場所も、変更したところです。これまでの終点のJR本郷台駅から、数百メートルしか離れていません。そのことにより、県がメッセージ要請に応えられ、県庁の国際課長が見えられ、知事メッセージを披露され、激励を頂きました。



地球市民プラザ敷地には、広島市からおくられた「被爆アオギリ」の2世が植えてありました。折られる妨害もあったそうですが、大きく育っていました。長崎市でも、「被爆クスノキ」2世の植樹を呼びかけています。私は、その植樹も課長にお願いしました。

終わってみると、出発と終了式で自治体からメッセージを頂き、集合場所も一般通行人に迷惑をかけず、警察官の交通整理もスムーズで、たいへんよい結果でした。変更決断が、情勢とも連携して新たな発展につながった事例だと感じました。

5月14日（火）

三浦市、横須賀市の行進です。

5月6日に、東京の夢の島から出発して初めて雨が降りになりました。

9時、三浦市役所で出発式が開かれ、市長メッセージを政策部長から披露されました。

三浦市の三崎港は、遠洋マグロ漁業の水揚げ港です。1954年3月1日、米国が行った南太平洋のマーシャル諸島の水爆実験で、約千隻の漁船等が放射能被害を受けました。当然、マグロ等が放射能被害を受け、日本の魚屋から魚が消える大問題になりました。

三浦市は、漁民を先頭に町ぐるみで原水爆禁止運動を全国に先駆けて行いました。その歴史を振り返り、市長から大きな激励をもらいました。

11時45分、京急線の三崎口駅前で、午前の行進が終わりました。三浦市コースのアピールコンテストでは、新婦人三浦支部作成の「三浦ダンロボ和平君」が表彰されました。大雨で足の一部が落ちるハプニングもありましたが、大奮闘のアピールでした。

